

## 尾瀬国立公園の公園計画の変更(一部変更)に関する概要

## 1. 背景

尾瀬国立公園は、尾瀬沼及び尾瀬ヶ原の開放的な湿原及び湖沼景観とこれらを取りまく燧ヶ岳(ひうちがだけ)、至仏山(しぶつさん)等の2,000m級の山岳からなる雄大な盆地景観、会津駒ヶ岳(あいづこまがたけ)の稜線や田代山(たしろやま)の山頂に広がる山地湿原景観から構成されています。

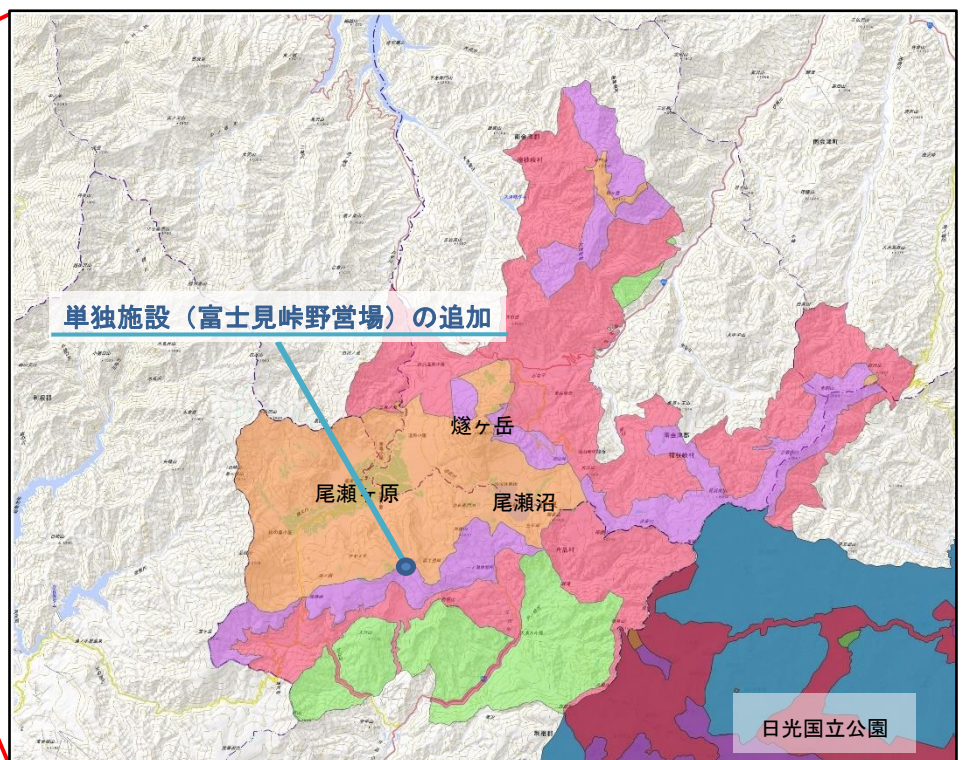
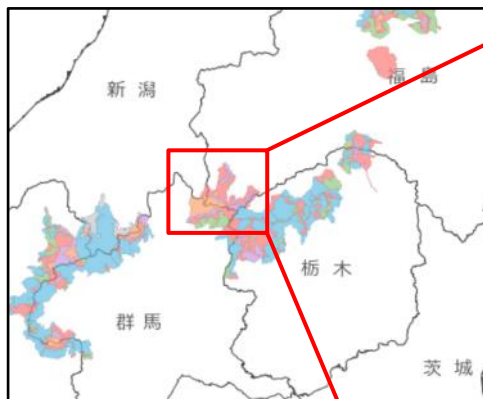
本公園の利用は、壮大な湿原景観やそこに生育する湿原植生、高山植物等を目的とした自然探勝や登山が主となっています。尾瀬ヶ原及び尾瀬沼は自然探勝が利用の中心であり、多様な層の入山者が、安全かつ手軽に豊かな自然とふれあえる場所として活用されるとともに、日本百名山である至仏山や燧ヶ岳、会津駒ヶ岳などの登山も人気を集めています。

令和4年2月に片品村が策定した「尾瀬国立公園群馬県側利用拠点計画」では、富士見峠においてポストコロナ時代に沿った形の新事業を構築し、「新しい尾瀬の魅力」を創出することとしており、その具体的な計画として廃業した富士見峠宿舎の撤去や、富士見峠を拠点とした新たなツアーの造成並びに野営場や休憩所等の利用施設の整備を進めていくこととしています。

今回の変更は、こうした状況を踏まえ、富士見峠の利用拠点としての魅力を向上するため、野営場事業を追加するものです。

## 尾瀬国立公園

## ※今回の主な変更点



日光国立公園

## 2. 変更案のポイント

保護規制計画については現行のとおりとします。利用施設計画については富士見峠野営場を追加し、富士見峠の利用拠点としての魅力向上を目指します。

## 3. 変更案の詳細

### ○利用施設計画

#### ・単独施設

追加：富士見峠野営場（群馬県利根郡片品村）